

学校力の向上を目指す研修講座

教員一人一人の資質能力を育み、「チームとしての学校」づくりを目指す。

学校力の向上を目指す研修										実施日				内容、連絡等		
講座番号・講座名																
3-2-01-21 人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～										10月1日(木)				長野県における人権教育のこれまでの歩み、現状、課題について理解を深め、人権教育を基盤とした学校づくりについて考えます。 講義・演習「共に創る人権教育」 講師 高森町教育委員会 教育長職務代理者 湯澤 正農夫 講義・演習「人権教育で大切にしたいこと」 心の支援課主任指導主事 研究協議「人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり」 教職教育部専門主事		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応									
		⑦	⑧						⑬							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特 -			義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 各校の人権教育の全体計画など各5部、 端末 (p. 6 参照)					
3-2-01-22 人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～										10月16日(金) 長野市 大豆島隣保館				長野市大豆島隣保館を会場に、講義や現地視察を通して、地域の素材を生かした人権教育のあり方について学びます。 講義「部落差別の解消に向けて」 現地視察研修(大豆島隣保館周辺) 体験学習「皮革加工の歴史を学ぶ」 講義・演習「地域の素材を生かした人権教育」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応									
	②		⑦	⑧	⑩	⑪			⑬							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専			義初	高初	義キ	高キ	■体験費 300円程度 ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。					
3-2-02-21 性に関する指導研修会										8月3日(月)				キャリアアップ研修Ⅱの 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修(小・中・義) 「わたしが選ぶ」校外研修(特) 「選択必修研修」(高) としてのみ選択可能な講座です。 保健厚生課の研修会に参加し、性に関する指導について基本的な考え方や保健学習の効果的な進め方を学びます。 ■申込みは総合教育センターのみに行ってください。(保健厚生課にも申込みと2重申込みとなりますのでご注意ください。) ■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応									
					⑩	⑪			⑬							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特 -			義初	高初	義キ	高キ						
3-2-03-21 学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～										8月6日(木)				学習意欲の向上につながるキャリア教育の本質を考えます。 講義・演習「教室と社会が繋がれば学習意欲は向上する」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 東北福祉大学 教授 長田 徹 実践発表・演習「各校の取り組み事例から、地域素材を生かしたキャリア教育を考える」 実践発表校、教職教育部専門主事 講義「長野県のキャリア教育の現状とこれからのキャリア教育」 学びの改革支援課指導主事 ■持ち物 各校のキャリア教育全体計画、端末 (p. 6 参照)		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応									
		①			⑥	⑦		⑨	⑩							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専			義初	高初	義キ	高キ						
3-2-04-21 学校組織マネジメントⅠ ～ミドルリーダーのための学校組織マネジメント～										7月6日(月)				「チームとしての学校」におけるミドルリーダーとして、どのような役割を果たせばよいのか、また、より効果的に人や組織をつなぐために何ができるのかを考えます。 講義・演習「学校組織をマネジメントするコーチング」 講師 常葉大学大学院 教授 久米 昭洋		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応									
		③	④													
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特専			義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)					
3-2-04-22 学校組織マネジメントⅡ ～教育法規と学校運営～										12月4日(金)				教育法規の視点から、学校組織マネジメントのあり方について理解を深め、事例をもとに危機を未然に防ぐための危機管理について考えます。 講義・演習「2026 - 教育法規と学校運営 ～スクール・コンプライアンスの視点から～」 講師 淑徳大学 教授 坂田 仰		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応									
		③	④	⑤				⑩	⑪							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専			義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)					
3-2-04-23 学校組織が駆動する校務ICT活用のデザイン ～チーム学校を支える戦略とマネジメント～										7月3日(金)				学校づくりや組織づくりには、職員同士のつながりや対話が欠かせません。近年、校務ICTを活用しながら、情報共有の工夫を通して、学校全体の動き方を見直そうとする学校が増えています。本講座では、ICTを「どう使うか」だけでなく、学校の中でどう位置付け、組織として動かしていくかという視点から考えます。実践事例や対話を通し、自校に合う改善のヒントを探ってみませんか。 実践発表「校務ICTを学校組織に根づかせるマネジメント」 講義・演習「校務DXの最新動向と組織的浸透のポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 校務改善専門官 遠藤 雅典 ■持ち物 端末 (p. 6 参照)		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応									
		④							⑫							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専			義初	高初	義キ	高キ						

を学希
目校望
指力研
すの修
研向上

学校力の向上を目指す研修										実施日				内容、連絡等			
講座番号・講座名																	
3-2-05-21 学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント										6月26日(金)				カリキュラム・マネジメントの理論や実践について、講義・演習を通して学びます。 情報交換「カリキュラム・マネジメントにかかわる各校の取組」 講義「カリキュラム・マネジメントの理論と方法」 演習「自校のカリキュラム・マネジメントの把握と改善」 情報交換「リフレクション～自校の取組に生かすために～」			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
②		⑥														⑭	
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		幼 小 中 義 高 特 専		義初 高初 義キ 高キ		○ ○		■持ち物 学校要覧又はグランドデザイン4部、 端末(p.6参照)			
信州大学連携 3-7-01-21 授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA 【中南信会場】										10月5日(月) 信州大学 伊那キャンパス				教師の授業力向上を目指し、学習指導要領が目指す方向を理解するとともに、児童・生徒が能動的に学ぶ姿を醸成するための授業改善のあり方やカリキュラム・マネジメントについて学びます。また、大学で開講されている教職科目「教職実践演習」に参加し、学生とともに授業研究や分析の演習を行います。 午前：教員のみで講義を実施 午後：教員と学生の協働による教職実践演習 講師 信州大学教職支援センター 特任教授 小山 茂喜 ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
②		④		⑥		⑨											
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- 小 中 義 高 特 -		義初 高初 義キ 高キ		○ ○					
信州大学連携 3-7-01-22 授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB 【東北信会場】										10月8日(木) 信州大学 上田キャンパス				教師の授業力向上を目指し、学習指導要領が目指す方向を理解するとともに、児童・生徒が能動的に学ぶ姿を醸成するための授業改善のあり方やカリキュラム・マネジメントについて学びます。また、大学で開講されている教職科目「教職実践演習」に参加し、学生とともに授業研究や分析の演習を行います。 午前：教員のみで講義を実施 午後：教員と学生の協働による教職実践演習 講師 信州大学教職支援センター 特任教授 小山 茂喜 ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
②		④		⑥		⑨											
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- 小 中 義 高 特 -		義初 高初 義キ 高キ		○ ○					
上越教育大学連携 3-8-01-22 授業観察2.0が創り出す新しい校内研修の形 ～子どもの事実を起点とした対話による組織の構築～										8月5日(水)				「子どもの姿から語る」を、建前からチームの熱量へ。 形式的な検討会やどこか予定調和な対話に、物足りなさを感じていませんか？本研修で、授業ビデオから「一人の子の学びの事実」を深掘りします。教師の「評価」や教師への「助言」を越え、子どもの姿を多角的に語り合う体験は、同僚との距離を縮め、チームの連帯感を生み出します。「授業観察 2.0」で、学校の授業研究をワクワクする対話の場へ。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 大島 崇行 上越教育大学教職大学院 教授 桐生 徹 ■持ち物 端末(p.6参照)			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		③ ④														⑭	
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		幼 小 中 義 高 特 専		義初 高初 義キ 高キ		○ ○					
3-2-10-01 講師のための教職基礎講座 高校										5月22日(金)				高等学校の教員として教育に携わるにあたり、基本に据えるべきことを理解し使命感を養うとともに指導の視点と姿勢を学びます。 講義「長野県における喫緊の教育課題と教育公務員として求められること」 教職教育部長 講義・演習「生徒理解と支援」 生徒指導・特別支援教育部専門主事 講義・演習「授業づくり及び評価方法の基礎・基本」 研究協議「授業改善に向けた課題解決のための手だてを考える」 教職教育部専門主事 ■持ち物 端末(p.6参照)			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		③ ⑤		⑦ ⑧ ⑨ ⑩													
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- - - - 高 - -		義初 高初 義キ 高キ							

を学希
目校望
指力研
すの修
研向
修上

講師のための教職基礎講座 高校

1 講座のねらい

- (1) 高等学校の教員として教育に携わるにあたり、基本に据えるべきことを理解して教員としての自覚と使命感を養います。
- (2) 生徒が身に付けてほしい資質・能力について理解を深めるとともに、授業力向上のための方法や手だてを専門主事とともに考えます。

2 申込み対象者

高等学校の常勤講師として勤務している方に限ります（特に今年度はじめて講師になった先生方は是非ご参加ください）。

3 申込方法

他の希望研修同様、Plant を通じて申し込んでください。

「探究の学び」と「教師の学び」をテーマにした「インターバル研修」

【昨年度の受講者の声から】

「探究は『させるもの』ではなく、子供の中にすでにあるものを支えることだと捉え直した」
 「問い返されることで、自分でも気付いていなかった思いが言葉になっていった」
 「教職員同士がもっと対話することで、学校全体の学びが変わっていくのではないかと感じた」



子供の探究を支えていくためには、授業づくりだけでなく、教師同士が学び合う場や文化を学校でどうつくるかが重要になります。本研修は、研究主任等、校内研修を構想・推進する立場にある先生方を対象に、教師自身が学び手として探究し、語り合い、省察しながら、自校の学び合いの在り方を見つめ直す研修です。「探究の学び」や学校改革に先進的に取り組む県内校から得られた理論や考え方を学び、自校で校内研修や実践を行うなど、理論と実践を往還させて学びを深めていきます。センター研修と自校の取組を行き来するインターバル研修に加え、講座参加者の学校への訪問等による伴走支援も予定しています。探究の学びを育てていきたい先生方の参加をお待ちしています。

■ 申込みにおける注意事項

- ① 本講座は以下の5講座で1セットの講座です。受講希望者は以下の5講座すべてに申し込んでください。
 ※ 4月の申込みでは、本講座以外の希望研修は2講座まで申し込むことができます。
- ② やむを得ず欠席される場合は、できる限り校内で代理の出席をお願いします。

を学希
目校望
指力研
すの修
研向上

学校力の向上を目指す研修（インターバル研修）									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-2-15-21 「探究の学び」を探究する(第1回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					6月5日(金)				【研修の構成】 前半は、教師自身の実践の省察や探究の経験を手がかりとしながら、探究そのものについて学び手の立場から捉え直すとともに、対話の意味や価値について考え、子供の探究を支える上で大切にしたい視点や関わり方を見つめ直していきます。 後半は、「探究の学び」を学校全体で支えていくために、校内研修の構想や実践を行い、その記録を持ち寄ってアウトプットとフィードバックを重ねていきます。こうした協働的な学びを通して、「探究の学び」を核に、教師が学び合いながら変化し成長していく道筋を捉え直していきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-22 「探究の学び」を探究する(第2回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					7月7日(火)				【研修の内容】 ○「探究」って何だろう？を、学び手の立場から考える ○探究そのものに触れてみる「ミニ探究」 ○写真や実践の様子をもとに語り合うグループ協議 ○探究の学びを支える対話の意味や価値について考える ○リフレクションの考え方や方法にふれる理論 ○探究の出発点となる問いの立て方や問いの在り方 ○教師同士が学び合う場や校内研修のつくり方を考える ○実践の記録を持ち寄って行う共同リフレクション ○アウトプットとフィードバックを通して、実践の成果や課題を見つめ直す ※上記内容は、受講者の学びの様子によって随時修正を加えながら進めていきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-23 「探究の学び」を探究する(第3回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					9月14日(月)				【オンライン研修】 (午後半日開催) 在勤校等 ○教師同士が学び合う場や校内研修のつくり方を考える ○実践の記録を持ち寄って行う共同リフレクション ○アウトプットとフィードバックを通して、実践の成果や課題を見つめ直す ※上記内容は、受講者の学びの様子によって随時修正を加えながら進めていきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-24 「探究の学び」を探究する(第4回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					11月16日(月)				【オンライン研修】 (午後半日開催) 在勤校等 ○教師同士が学び合う場や校内研修のつくり方を考える ○実践の記録を持ち寄って行う共同リフレクション ○アウトプットとフィードバックを通して、実践の成果や課題を見つめ直す ※上記内容は、受講者の学びの様子によって随時修正を加えながら進めていきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-25 「探究の学び」を探究する(第5回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					2月16日(火)				■持ち物等、詳細は別途Plantにて連絡します。 ■上記の研修日以外に、オンラインで情報交換や相談ができる機会をつくる予定です。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	